

2025-26年度RI会長
フランチェスコ・アレツツォよいことの
ために
手を取りあおう

第2580地区ガバナー 中川 雅雄

1. クラブをもっと元気にしよう
例会を楽しみましょう
 2. 地域社会に役立つ活動をしよう
 3. デジタルをうまく役立てよう
- +ONE よい事はマネしよう

思いやりの心を大切に

2025-26年度 クラブ会長 山田 丈夫



本日の卓話

親子はねやすめの報告

NPO 法人親子はねやすめ代表理事・東京神田 RC 宮地 浩太様

司会進行
点鐘
奉仕の理想
ニコニコボックス報告
幹事報告
副会長報告
出席報告

和田 夏彦会員
山田 丈夫会長
日根野雅敏会員
和田 夏彦会員
木村 良成幹事
神保宏充副幹事
和田 夏彦会員

葉です。例会の初出席日は岡田委員長と相談して決める予定です。

4/9 入会 3 年未満会員向け研修・参加報告
日根野 雅敏会員

4/9 (木) 紀尾井町 RC にて開催された、千代田 6 クラブ合同の「入会 3 年未満会員向け卓話」に参加してまいりました。当クラブからは、安田会員と私の 2 名が出席しました。

通常の例会に参加した後、入会 3 年未満の会員で座談会が行われました。参加者は十数名で、その多くが紀尾井町 RC の会員 (7~8 名) でした。お茶の水 RC からの参加は 2 名、その他いくつかの RC から参加がありました。会では、入会後の率直な感想が交わされ、「ロータリーの歌が不思議に感じた」「会員の皆様が親切にしてくださる」といった意見が出ました。特に印象的だったのは、紀尾井町 RC は会員数が非常に多く、女性会員も多くて賑やかであった点です。会員同士でも初めて顔を合わせるという場面も見受けられました。

大規模クラブの活気ある雰囲気も素晴らしいものでしたが、それと比較して、当クラブのアットホームな雰囲気が自身には合っていると改めて感じました。参加者は皆、ロータリーについてまだ勉強中という方ばかりでしたので、引き続き頑張りたいと思います。

誕生日祝い

4 月 26 日 張 碧華会員



ニコニコボックス

山田会長 先日のクラブ・リーダーシップセミナー参加の皆様おつかれ様でした。

土居会員 4 月 17 日のクラブリーダーシップラーニングセミナーの出席された皆さんお疲れ様でした。このセミナーから木宮年度の実質スタートですネ。

高山会員 先週の味佳久会ご参加の皆さまありがとうございました。お陰様でいいスタートを切れました。

計 9,000 円 累計 749,650 円

幹事報告 木村 良成幹事

- ・次週 4/29 と 5/6 は休会です。次回は、5/13 (水) 東京ドームホテルでの開催です。今年度・次年度の合同理事役員会がありますので、関係者の方は 11:30 までにお集まりください。
- ・親子はねやすめ基金へのご協力ありがとうございました。

出席報告

会 員 数	36 名	ゲ ス ト	0 名
出 席	19 名	ビ ジ タ ー	0 名
Z O O M	0 名	合 計	19 名

副幹事報告 神保 宏充副幹事

- ・先日配布した次年度会員名簿の校正のお願いの件ですが、提出が来週 4/30 までとなっています。ご提出まだの方は早目に事務局にご提出ください。

米山奨学生カウンセラーオリエンテーションの報告

角田 靖会員

4/11 に、岡田米山委員長の代理でカウンセラーオリエンテーション及び米山奨学生期間始業式に出席してきました。今年度の当クラブの奨学生は、中国出身ヤンペイ君 24 才です。日本今年で 6 年目になります。京都大学は理学部の生物系やっていました。東京大学は医学系研究科です。研究テーマは AI を用いた RNA 製

クラブ協議会

4/17 クラブ・リーダーシップ ・ラーニングセミナーの報告

司会進行 神保 宏充次年度幹事

■全体会議 木宮 雅徳次年度会長

谷一文字次期ガバナーのキャッチフレーズは「Happy Rotary」です。7月1日から正式に掲げられます。

地区の重点推進事項として、第一に

「会員純増 125 人」という目標が掲げられました。近年、退会者と新入会員の数がほぼ同数で推移しており、純増がほとんどない状況を打開するため、女性会員比率の向上や多様な会員種別の創設などが求められています。これは、元パストガバナーである若林さんが提唱する「会員種別の多様化による会員増強」という考え方にも通じるものです。その他、ハラスメントのないクラブ作りや平和フェローの輩出も挙げられていますが、最優先課題は会員増強です。

ラーニングファシリテーター兼パストガバナーの若林さんからは、クラブ独自の会員種別を検討し、会員増強と退会防止の両立を図ることの重要性が強調されました。具体例として、高齢の会員や健康上の理由で食事に参加できない会員のための「シニア会員制度」、他「家族会員制度」、オンラインで参加する「ウェブネット会員」、さらには「法人会員」「パール会員」「若手会員」などの創設が提案されました。衛星クラブの設立も地区からは推奨されていますが、実現は容易ではないので、我々クラブは、これらの提案を参考に会員増強と退会防止に努め、少しずつ会員数を増やしていければと思います。

次期ガバナーのキャッチフレーズが「Happy Rotary」なので、楽しくロータリー活動を楽しみましょう、居場所があるようなクラブにしましょうっていうことだと思っていただければ幸いです。

この場をお借りして、次年度の委員会の皆様へご連絡です。先日、次年度の委員長の方々と構成される LINE グループを作成し、事業計画の提出についてお願いいたしました。例年、提出が締め切り間際になりがちですが、今年は 5 月 20 日に戦略委員会が開催されるため、その 1 週間前である 5 月 13 日（次回の例会日）を目処に、まずは草案でも構いませんのでご提出をお願いいたします。提出いただいた内容をもとに相談を重ね、戦略委員会での議論に備えたいと思います。

その後、6 月 3 日の理事役員会で事業計画が決議され、同日の卓話の時間にクラブ協議会として、各委員長から発表していただく予定です。ご自身の言葉で説明できるよう、計画の作成をお願いいたします。今年度の事業計画は、今朝メールでお送りしたワードファイルや、以前 LINE でお送りした PDF ファイルをご参照ください。ワードファイルの方が編集しやすいかと思います。提出まで 3 週間ほど時間がございますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

最後に、当クラブの同好会についてですが、「茶楽会（ゴルフ）」「味佳久会」「釣同好会」「茶音会（カラオケ）」の 4 つが正式に成立いたしました。私



自身、茶楽会には入会当初から参加しておりますが、近年ゴルフの腕が落ちてしまい、あまり参加できておりませんでした。しかし、今年からは完全復活を目指して頑張りたいと思います。各同好会がクラブを盛り上げる一助となるよう、皆様のご参加とご協力をお願いいたします。

■クラブ活性化リーダー部門 海江田 健司会員

昨年度までは 5～6 人のグループでディスカッションを行う円卓形式だったと記憶しておりますが、今年度は登壇者のスピーチをスクール形式で聴講する形で、会員同士で討論する機会はありませんでした。



6 名の方が登壇されました。主な内容は以下です。

- ・**青少年交換**：青少年交換委員長の遠山さん青少年交換の話がありました。
- ・比留間さんの話は失念しました
- ・**My Rotary**：半場さんより、My Rotary の登録について説明がありました。当クラブでも未登録の方は、ぜひ登録をご検討ください。
- ・**拡大増強**：中川ガバナーより、拡大増強委員としてお話がありました。地区推進事項の中にもあった「ハラスメントのないクラブ作り」ハラスメントのリスクマネジメントや、衛星クラブについて触れられていました。
- ・**米山奨学会**：米山奨学委員会の堀内さんより、4/11 に行われた米山奨学生の修業式について報告がありました。

最後に谷一ガバナーエレクトが登壇したのですが、一番自分の中で印象に残ったのは「ロータリーファミリーを大切にしたい」という言葉です。クラブ活性化リーダーに何の関係があるのかと最初思いましたが、まとめてみると青少年交換、米山奨学生、衛星クラブ、ローターアクト等、いろんな種別のクラブを作って会員増強につなげていくというのが根底にあるように、自分では理解しました。そういう流れで、次年度をやっていききたいというように理解しました。

■神保 宏充次年度幹事より

谷一ガバナーエレクトの話は、冒頭に掲げられた「Happy Rotary」というテーマが中心でした。谷一ガバナーエレクトによれば、「Happy Rotary」とは会員一人ひとりが活動に充実感や喜びを感じ、その個々の幸福感がクラブ全体の活力となり、ひいては地域の活性化や社会貢献へと繋がっていくというものです。



また、次年度の国際ロータリー会長が掲げる「持続可能なインパクトを生み出そう」という標語についても説明があり、これは未来に向けて継続的に進歩していく活動を目指すものであるとお話でした。

谷一ガバナーエレクトが特に強調されていたのは、やはり「会員増強」です。特に女性会員の比率が 10～11%と低い現状を改善していきたいと述べられていました。また、入会 3 年目や 10 年目といった節目で退会する会員が多いことから、同期のミーティングの開催や、家族を巻き込んで活動を継続しやすくするような試みも検討していきたいとのことでした。

奉仕活動については、ポリオの根絶は継続して取り組むべき課題としつつ、クラブ単位やグループ単位で

の活動の重要性も指摘されました。そして、各クラブで良い奉仕活動があれば、自身もぜひ参加したいので声をかけてほしいと呼びかけられていました。

さらに、地区や国際ロータリーが提供するリソースを、クラブが積極的に活用してほしいという話もありました。卓話者リストや My Rotary など、クラブ活動に役立つツールが数多くあるため、会長を中心に有効活用してほしいとのことです。

最後に、「ロータリーファミリー」の重要性についても話がありました。インターアクト、ローターアクト、米山奨学生、RYLA、青少年交換、ローテックス、さらにはロータリー財団奨学生や平和フェローなど、ロータリーに関わる人々は皆、かけがえのない仲間であり、次世代のロータリーを担う存在です。これらの人々との連携を深め、しっかりと活動していくことの重要性が強調されました。

以上が、谷ーガバナーエレクトの話の概要と、私からの補足となります。

■奉仕プロジェクト部門

ロータリー財団部門 土居 岩生会員



- ・国際ロータリーおよび地区のメッセージと基本方針

国際ロータリーの次期会長であるナイジェリアのババララ氏は、「持続可能なインパクトを生み出そう (Create Lasting Impact)」というメッセージを打ち出しています。これに対し、当地区の谷ーガバナーは「Happy Rotary みんなのために」というスローガンを掲げており、各クラブはこれらの考えを事業計画に反映させることが期待されています。

- ・地区チーム研修セミナーの概要

セミナーには全体で 400 名余りが参加しました。部門別の参加者内訳は、クラブ活性化リーダー部門が約 260 名、奉仕プロジェクト部門が約 80 名、財団部門が 50 名弱であり、クラブ活性化リーダー部門への関心が圧倒的に高い結果となりました。また、従来の「トレーニング」から、対話を通じた学びを重視する「ラーニング」への名称変更が行われました。小テーブルでのディスカッション形式が導入されなかったのは残念でした。一部の部門構成（社会・国際・職業奉仕の統合など）については、今後の改善を求める意見も出されています。

- ・各奉仕部門の活動と取り組み

職業奉仕部門：西村委員長による解説が行われました。従来の歴史解説中心ではなく、手続き要覧や定款細則に基づいた実務的なアプローチが取られており、他クラブからも高い評価を得ています。この内容は地区の YouTube チャンネルでも公開されており、会員への周知が推奨されています。

社会奉仕部門：マニュアルに基づいた事例紹介が行われました。特に上野ロータリークラブが 40 年継続している「奏楽堂コンサート」は、芸大生への発表の場提供と地域貢献を両立させた素晴らしい事業例として挙げられています。

国際奉仕部門：補助金の活用方法についての説明がありました。

- ・ロータリー財団と寄付について

ロータリー財団部門では、1917 年から続く財団の歴史や、グローバル補助金の活用について説明されました。特にタイとの関係構築においてグローバル補助金を活用する案などが提示されています。寄付に関しては、一人当たり 230 ドルという目標ペースが維持されていますが、当クラブの現状は目標の約 8 割にとどまっており、さらなる協力が求められています。

- ・今後の課題と展望

地区大会や次年度に向けた課題として、一部のクラブにおける出席率の向上が挙げられています。次年度の運営に影響を及ぼす可能性があるため、出席者の倍増を目指した働きかけが必要です。また、ジュニア・ジョーンズ財団管理委員長が 8 月に神戸を訪問する予定であり、これに合わせた財団への寄付協力も呼びかけられています。

■山田 丈夫会長より

私も次年度のガバナー補佐としてセミナーに参加していました。

先程 My Rotary の話が出ましたが、登録している人は約 50%だそうです。私も My Rotary に登録して、いろんなところで勉強になることがたくさんありました。ですから皆さんもぜひ登録して見てもらうだけでも、ロータリーアンとして、理解が深まると思うので、ぜひ登録お願い致します。

「Happy Rotary」、やっぱり楽しくクラブの活動をしていただきたいと思います。

今後の予定

- 5/20 (水) (於)東京ドームホテル
クラブフォーラム
- 5/27 (水) (於)ブックハウスカフェ
水本 昌克会員
- 6/ 3 (水) (於)東京ドームホテル
クラブ協議会「次年度事業計画の発表」
- 6/10 (水) 休会